平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	46	事業No.	7		
会計	一般会計				
事務事業名	広報広聴事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	秘書広報課	開始	S25	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市情報化基本計画2013
				飯田市行財政改革大綱
				第５次飯田市男女共同参画計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	全市民
	意図	市政に関する情報をわかりやすく提供することで、必要な行政情報が十分に入手できると感じる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	広報いいだを中心とした各種媒体から発信する情報が、市民にわかりやすく伝わるとともに、マスコミを通じた情報提供を積極的に行い、よりいっそうの情報浸透を図る必要があります。 やらまいか提言をはじめとした市政への意見には迅速に回答するとともに、市政へ反映できるように努める必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	広報いいだを１日号は年間12回、15日号は年間10回発行します。 ケーブルテレビでは、広報いいだ特集記事を題材に企画番組「テレビ広報」を年間10回制作し放送します。 コミュニティFMでは、企画番組「かざこし歳時記」で各課、学校、保育園といった関係団体が登場する番組を制作し、月曜から木曜まで一日２番組放送します。ケーブル回線を用いた音声告知放送では、市からのお知らせを一日４回放送します。 市政への関心や生活実態を把握してまちづくりに活かせるよう意識調査を行い、結果を公表するとともに、やらまいか提言をはじめとする市政への意見には迅速に対応します。 マスコミを通じた情報提供を積極的に行うよう、記者会見を毎月２回実施します。	広報いいだ発行事業	19,785
		テレビ広報制作事業	7,855
		いいだＦＭ広報番組制作事業	16,369
		音声告知放送事業	8,943
		市民意識調査	589
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	広報いいだ１日号の発行	部/月	35,600	34,400		
	広報いいだ15日号の発行	部/月	34,700	33,600		
	テレビ広報の制作	回/年	10	10		
	ラジオ広報の制作(かざこし歳時記)	回/週	8	8		
	市民意識調査回収率	%	50	50		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	53,541	（そ）諸収入
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,800	
	一般財源	51,741	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	2	10	1	19,785 0	広報広聴費
2	1	2	1	2	10	2	33,167 0	広報番組制作放送委託費
3	1	2	1	2	10	3	589 0	市民意識調査事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 7　　事業名 広報広聴事業　　秘書広報課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
市民意識の高揚	○			○	○	○	○	○	○	○	日常的環境改善運動が高揚するよう市民等に関連情報を提供する	広報いいだの発行において、環境関連の記事を毎号必ず掲載するよう努める		

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
日常的な環境改善の意識高揚が図れるよう、市報毎号に環境情報を提供する。また、提供内容を記録することで成果とする。	日常生活での環境意識 年度末まで 市民の環境意識を高揚する	各種広報媒体を活用して、環境情報を定期的に提供する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	46	事業No.	25		
会計	一般会計				
事務事業名	秘書事務	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	秘書広報課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市組織規則	

事業目的		
	対象	理事者を中心とした飯田市
	意図	市民各位はじめ、国・県、伊那谷・下伊那の各自治体や市議会ほか関係団体等と適切な意思疎通を図ります。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	リニアや三遠南信道ほか重要案件に対して臨機応変に対応するよう、正確で迅速な調整や手配等が必要とされています。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	理事者が市政運営に必要な各種面談・情報交換・意見交換の機会を設定し、スケジュール管理を行います。 交際費等については、基準に照らし合わせた厳正な支出管理を行います。	国の委員会等へ出席するための旅費	3,969
		交際費	2,157
		全国市長会等負担金	1,961
		一般秘書業務	4,146
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画	計画		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	12,233	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	12,233	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	8	10	1	8,115 0	秘書費
2	1	2	1	8	10	2	2,157 0	交際費
3	1	2	1	8	10	3	1,961 0	各種負担金
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 25　事業名 秘書事務　　秘書広報課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
紙の消費	○			×	×	×	×	×	―					
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―					
水の消費	○			×	―	―	―	×	―					
ガソリンの消費	○			×	―	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	46	事業No.	26		
会計	一般会計				
事務事業名	市政功労者表彰事務	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	秘書広報課	開始	S42	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		飯田市表彰規則

事業目的		
	対象	市の政治、経済、文化、社会その他の各分野において、市政の振興に貢献し、又は市政に協力をした者
	意図	表彰状または感謝状を授与し、功労を称えます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	多様な主体による協働を促進するために、表彰基準が厳し過ぎないよう留意する必要があります。 平成26.27年には、基準等緩和する見直しを行いました。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市政功労者表彰 （1） 表彰式期日　10月１日 （2） 被表彰者調査 （3） 市政功労者審査委員会	市政功労者表彰事業	1,016
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	市政功労者表彰者	件	50	50		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,016	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,016	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	8	10	1	1,016 / 0	秘書費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 26　事業名 市政功労者表彰事務　　秘書広報課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況